

## よどがわくらしの助け合いの会『ほのぼの』 具体的な活動をご紹介します

今年も草取りの依頼がありました。写真は、活動会員がたくさん茂ったどくだみを丁寧に抜いてくれている所です。今年もお庭がスッキリ綺麗になりました。その他に活動した内容で高齢者の援助としては、お部屋の掃除、食事作り、買い物、衣類の整理、布団干し、ゴミ出し、話し相手、子育て支援や産前産後の援助では、赤ちゃんの沐浴の補助、洗髪の補助、食事作りなどの活動を行っています。組合員の方なら、どなたでも会員になれます。ちょっぴり誰かの為にお手伝い、そして自分の為に・・・体験学習や講演会、バスツアーなど楽しく為になる企画もありますので、会員になってどんどん参加して下さい。今までに、開催した催しをいくつか紹介します。



### 救命講習会 7月14日(火)



『ほのぼの』主催で18名の参加で開催しました。吹田南消防署 救急隊員の方を講師に招き、救急処置の流れの説明を聞いたあと、心肺蘇生法(胸骨圧迫)とAED(自動体外式除細動器)の使用方法を教わりました。参加者は実際に心肺蘇生法を体験するなど、みんな真剣に耳を傾けていました。

参加者の声

- ★初めて救命講習会を受けました。とても興味がありましたので、勉強になりました。AEDの事など全く分からなかったため、万が一の時には少しは役に立てるかと思います。
- ★AEDを初めて見て、取扱いましたが簡単な操作でできる事がわかり、何かの時には役に立てると思いました。あわてないで落ち着いて、少しは出来るかもしれないと思いました。

★とてもわかりやすかったです。まだまだ先の事だと思っていたのですが、もう既に、脳の細胞は、一月に10万個ずつ死んでいるので、認知症にならない為の努力が必要だと思いました。

★体を鍛える事はしていますが、頭を使う、頭を鍛える事を見落としていました。今日のお話を聞けて良かったです。

参加者の声

### ほのぼのサロン 8月10日(月)



茨木市水尾コミュニティセンターで年に数回開いています。地域の会場で参加者とボランティアと一緒に企画して運営しています。みんなで、お茶をしたり、小物づくりをしたりして楽しく交流しています。

### 認知症学習会 2月5日(木)



よどがわ保健生協さんと共催で北大阪医療生協「物忘れ外来」の専門医山本秀樹先生をお招きし52名が参加されました。内容は、認知症の早期発見と対応についてでした。先生のお話では、現在高齢の方が、認知症にかかったとご自身で認識する(自覚する)ことは難しいことなので、周りの方の注意が必要になること、また認知症にならないためには、その日の出来事を単に書くのではなく、自身が感じた事・考えた事を書いていくことが大切であることなどを強調されていました。



#### 《活動会員さんの感想》

- 普段自分がやっている事、できる事のお手伝いなので、やってみようと思った。喜んでもらえて自分の負担もなくて良かったです。
- 利用会員さんとのふれあいで、元気をもらったり、得るものがたくさんありました。

#### 《利用会員さんのご意見》

- 普段手がまわらないところ(窓やドア拭き)なども掃除してもらえて良かったです。気分もスッキリしたようで気持ちが良かったです。
- 産後で食事作りを主にして頂きました。ベテランの主婦の方でおいしく、手早く、時間内に何品も作って下さり、とても助かっています。

お問い合わせ 『ほのぼの』事務局(組織部) ☎06-6319-5619(月~金 9~17時)

「水をくれ」と近寄ってくるが、やけどを負った方が水を飲むと亡くなってしまおうと聞かされていたので、苦しんでいる姿を見ても絶対にあげられなかった。その後このような異様な光景をもう二度と思出したくなく、被爆した当日の事を考えなくなり、被爆の講演を聞くと思いだして体調が悪くなり、後すべての髪の毛が抜け、歩く事ができたのは、一か月後になりました。

師範学校卒業後、教職につき、被爆した方が亡くなっていくに従って、その当時の事を後世に残さなければならぬ。話していかないといけないと感じました。

### 被爆者の方の体験談

平成に入り、被爆した方々がお亡くなりになり、被爆した遺品を寄付されたり、原爆で表面が溶けた瓦が発見されたり、学校などグラウンド整備中に遺骨が出てくる事があります。その当時死体の多くは、身元不明であちこちで焼かれその遺骨がまだ広島のアチラコチラにあり、平和公園の下や河川の河口にも遺骨がたくさんあります。その事を皆さんに知って頂きたいと思っています。

最後に、「人間として幸せに生き続けて欲しい」「原爆があると、いつ怪物のようになるかもしれない」ことを皆さんにお伝えしたい。

#### 参加者の声

「初めて広島に行った」谷川 奏さん(小学校6年生)

お母さんと生協の人たちと新幹線に乗って、広島に行った。戦争を14歳で体験し、被爆した矢野さんのお話を聞いた。怖かった。

よその国ではまだ戦争をしている。家をなくした人や、たくさんの命がなくなっている。僕には家がある。お父さん、お母さん、たくさんのお兄ちゃんとお姉ちゃんがいる。学校には、やさしい友達や先生がいる。戦争はたくさんの命や物を奪う。

お母さんとどんかつやスパゲッティを食べた。おいしかった。戦争が起これば、食べ物もなくなる。僕は幸せなんだね。11月には、修学旅行で又広島に行く。そして平和の鐘を鳴らす。戦争はいやだ。



No2

測定結果報告

## 《よどがわ》エリアで 二酸化窒素(NO2)を測定!

NO2は空気を用いる燃焼の全てが発生源です。人への影響も他の大気汚染物質と同様に目、気管支、肺呼吸器系を刺激し障害を起こします。

そこで、私たちの住んでいる地域での大気汚染の状況はどうなのか?今年6月4日(木)夕方から翌日夕方までの24時間、環境グループ、理事、行政区委員の協力で測定を行いました。

NO2(二酸化窒素)環境基準値(単位ppb)	
19以下	比較的きれい
20~39	少し汚れている
40~59	汚れている
60以上	大変汚れている

環境基準値とは環境基準法で定められた、維持される事が望ましい数値のこと。

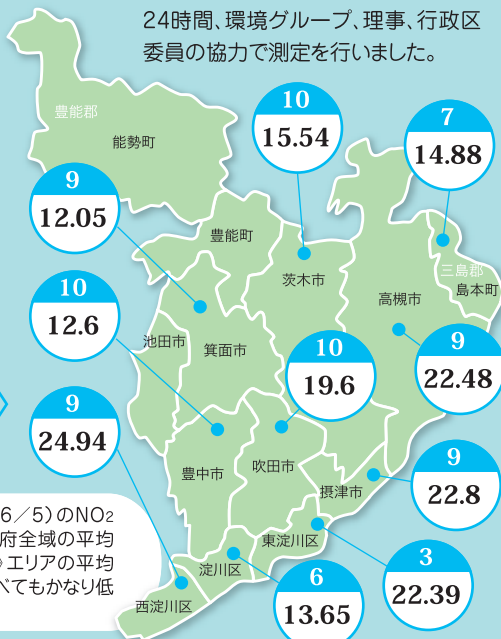


測定数  
平均測定値

測定値の見方(単位ppb)  
1ppbは0.0000001%の濃度のことです。

#### ▼測定結果の特徴

測定の結果=今年の測定日(6/4~6/5)のNO2の濃度は、測定日が雨天の事もあり、府全体の平均値が19.8ppbでしたので《よどがわ》エリアの平均17.8ppbの数値は、例年の数値に比べてもかなり低い1日であったと言えます。



●子どもの頃、親から当たり前のように「明かりを消さない」「もったいないからテレビを切りなさい」と言われたものです。「もったいない」と思う心が大切ですね。

### 生協職員も一緒に取り組みました

●我が家の最大のエコはクーラーをつけないこと。去年は一度もつけませんでした。今年も頑張るぞ!

エコという言葉はよく聞けど改めて何かをしたのは初めてです。本当に少なくて小さなことですが、地球に私たちの未来にいいことをしましたという気持ちになれました。

子ども2人とチャレンジしました。特に上の子はテレビをいつもならつけていたのに、消して違う遊びをしていました。私もテレビがついていないからこ子ども達とゆっくり落ち着いて遊んだり、関わらせて。そうじも3人で力をあわせてやりました。

専用ホームページも開設

アドレス <http://www.ecolife.coop/> または コープみんなでエコ 検索